

千歳川を降河するふ化場産および野生産サケ稚魚の 栄養状態

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): ふ化場魚; 野生魚; 千歳川; 栄養状態 キーワード (En): 作成者: 清水, 智仁, 伴, 真俊, 宮内, 康行, 梅田, 勝博, 中尾, 勝哉, 藤井, 真, 真山, 紘 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010577

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



千歳川を降河するふ化場産および野生産サケ稚魚の栄養状態

清水智仁・伴 真俊・宮内康行・梅田勝博・中尾勝哉・
藤井 真・真山 紘

2013年3～4月に千歳川へ放流されたふ化場産サケ稚魚と、野生サケ稚魚の栄養状態を比較した。4～6月に、放流地点から60 km下流に設置したトラップで186匹の稚魚を採捕した。野生魚には、卵黄の吸収を終えていない浮上直後の個体が含まれていた。放流魚の体サイズは、野生魚より大きい。肝臓重量指数、トリグリセリド含量は、放流魚と野生魚の間に有意差はなかった。放流魚のグリコーゲン含有量は、放流前に高く、放流後は河川内で短期間に減少し、卵黄の吸収を終えた野生魚のグリコーゲン値とほぼ同等となった。一方、魚体のトリグリセリド含量は大部分の採捕魚で0.3%以上を示し、放流魚は生存可能な状態と判断された。